

### 1.3 革新的省エネ機器の実証事業実施結果

#### 1) 対象車両

単位：車両台数（台）

最大積載量	幹線輸送	集配輸送	貸切輸送	その他	計
～2 t 未満	-	-	-	-	-
～5 t 未満	-	-	-	-	-
～10 t 未満	-	-	-	-	-
～20 t 未満	-	-	2	-	2
～25 t 未満	-	-	-	-	-
25 t 以上	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2社（2台）が応募。

※2社とも太陽光発電アイドルストップ機器を装着

※応募を検討していたが消費増税の影響で、応募を控えた事業者もあった  
（執行団体への問い合わせより）

#### 2) 省エネルギー改善率

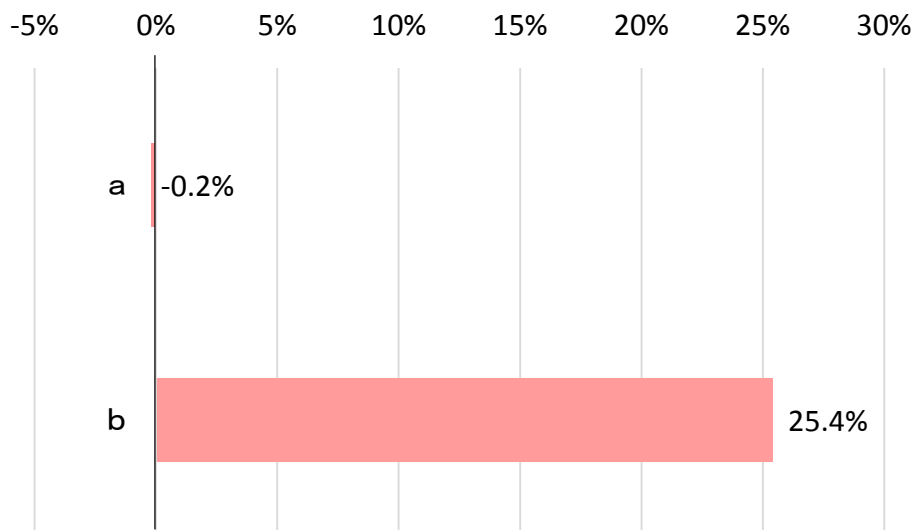
※エコドライブと同様の指標で効果を計測

$$\text{省エネルギー改善率} = \frac{(\text{機器装着後の実燃費} - \text{機器装着前の実燃費})}{\text{機器装着前の実燃費}}$$

※実燃費(km/l)・・・走行距離÷燃料使用量

### ① 省エネルギー改善率

- 革新的省エネルギー機器による省エネルギー改善状況は、実施した2社（2台）のうち、b社では大きく改善したのに対し、a社では-0.2%と効果がみられなかった。



### ② 省エネルギー効果

#### ■効果が得られなかった理由

##### ○ a社

- 対応機器は蓄電した電力でエアコン（冷房専用）を作動させる機器であるが、冬場はヒーターを使用しているため効果が得られなかった

#### ■改善した理由

##### ○ b社

- データ取得時期は冬期であり、装着前（1～2月）は元から車載の暖房を使用していたが、装着後（3月）は日中暖かくなり暖房の使用回数が減少したため（対応機器は冷房専用機器であり、改善効果への影響とは無関係）